

市への意見・要望（令和4年11月分）

（令和4年11月1日～30日受付分）

受付日	件名	意見・要望の内容	市の回答・対応	担当課
11/10	路上での喫煙について	大阪市では喫煙場所以外での路上での喫煙は禁止されていて違反すると1000円の罰金が課せられるとなっている。同じような条例を藤井寺市も作って欲しい。車から腕を伸ばして吸っている煙草があたりそうになったり、外向きに煙草の火を持ちながら歩いている人の横を過ぎる時に火があたりそうになることもある。風向きでタバコの煙が流れてきて気分が悪くなる事がよくある。	本市での受動喫煙防止の対策につきましては、国が定める健康増進法に基づき、取り組んでおります。 今のところ、路上喫煙などに関する市独自の対策に取り組んでおりませんが、今後も市民の方のご理解とご協力を得られるよう、受動喫煙防止の啓発に努めていく考えです。	健康課 まち保全課
11/14	キャッシュレスキャンペーンについて	paypay,aupayのみ対象は不公平です。 私はd払いを使っています。aupayよりシェアが大きいですよ。	お問い合わせいただいております、キャッシュレスキャンペーンにてPayPayとauPAYを対象とした経過について回答させていただきます。 キャンペーンの導入にあたり、多くの方々に本キャンペーンをご利用いただくため、藤井寺市内の事業者や店舗で導入されているキャッシュレス決済の種類の内、上位2社を対象としており、その結果、auPAYとPayPayを対象のキャッシュレス決済として決定しました。	政策推進課
11/15	ワクチン接種計画についての意見	今年の3月と8月に超過死亡者数が異常に多くなっていることが、参議院の質疑応答でも述べられています。 (https://www.youtube.com/watch?v=m-o50lq0KCO) このような事実を考慮するならば、ワクチン接種を中止するべきだと思います。	今回の新型コロナワクチン接種につきましては、予防接種法における臨時接種として位置付けられており、国政の方針に基づき実施することとなっておりますが、ご意見いただきましたこと承らせていただきます。	健康課
11/17	循環バスについて	ほんの少ししか乗っていないのにマイクロバスで運用している。ワンボックスで、十分です。	「公共施設循環バス」につきましては、市内公共施設を利用するための交通手段として運行させていただいているところです。 これまで特定の区間においては、多くの利用者が乗車されることから、マイクロバスを使用し、より効率的に利用していただけるよう、コースの見直しや停留所の増設や運行ダイヤの改正を行い、北回り、南回りの各コースを2台のバスで運行してまいりました。 しかしながら、最近ではコロナ禍やそれに伴う緊急事態宣言、大阪モデル「非常事態」赤信号による、各施設の休館により公共施設への利用制限などがあり、それ以降外出を控えられる方も多く、循環バスの乗車人数が減少している現状でございます。 これからの循環バスの運営においては、市民ニーズに対応する循環バスの在り方や、時代にあった「公共交通」の在り方の調査・研究をしてまいります。何とぞご理解賜りますようお願い申し上げます。	総務課
11/26	無色透明袋のゴミ袋	無色透明袋のゴミ袋を使用しろとHPでも表記されています。実際は半透明のものもけっこう使用されています。(50%?) 藤井寺市内のスーパー等ではほとんど半透明のものしか売っておらず、複数店まわって透明の物をさがして買っていますがこちらの方がなぜか倍くらい高価です。実際、禁止されている半透明の物もけっこう多い。半透明が禁止だとはわかってないのか。そもそもあれが透明だと思っているのか。すごくはらだたい。一度、透明袋以外は回収しないことを実施してください。そうすると大変なことになるでしょうから、私のような者もうかばれるよ	週2回収集の燃えるごみは、中身が見えるようにするため、無色透明のごみ袋での排出を指定し、十年以上前からご協力をいただいております。 中が見えないことで、空カンや空ビン、小さな鍋や陶器、シェーバーやドライヤーなどの小型家電にいたるまで、混入される事例が度々ありました。スプレー缶やカセットコンロのボンベが混入している場合、ごみ収集車の中で爆発し発火することもあります。 収集時に袋を掴んだ時に、割れたガラスや鋭利な竹串、金串、注射器などの医療	環境衛生課

		<p>うに、半透明のものも使えるように変更、発表、表記してください。</p>	<p>廃棄物が袋を突き破ってくることもありました。</p> <p>これらのことから、異物混入の抑止と分別の促進、収集作業員の怪我防止のために、無色透明の袋へと変えた次第です。</p> <p>今では押し並べて改善されていますが、それでも焼却後の残灰の中には、焦げた鉄屑や溶けて変形したガラスが出てきます。少数であってもこれらのモラルの無いごみの出し方は後を絶ちません。</p> <p>ごみの中には、個人情報満載です。袋が無色透明ですので、ごみステーションに積み上げられた袋は、不特定多数の方の目に触れることとなります。このとき他人に見られたくないごみは、見られないように新聞か紙袋などで包んで袋の中央に入れてください。</p> <p>通常は45リットルのポリ袋を想定していますが、ごみの量が少ない場合は20リットルのポリ袋でも結構ですし、45リットルの袋が一杯になった時に排出していただいても結構です。</p> <p>また、燃えるごみは大半が生ごみであるため、放置すると腐臭が発生したり、猫やカラスの餌食になります。カラスや野良猫対策として、ごみ袋を防護ネットでシートのよう包み込んでいただくことを推奨しております。ところが最近のごみ袋の内側に新聞紙を挟み込み、中が見えないようにしてカラス対策をされる方々が増えてきました。これでは無色透明の袋の指定が無意味となってしまいます。</p> <p>カラスは食べ残しや調理屑などの食品残渣を視覚的に捉えて狙うと言われていいます。「カラスは紙ごみ等を狙いませんので、水気を絞った生ごみだけを小袋に入れて、それを新聞紙や紙袋で包んで袋の中央に隠してください」と、アナウンスしています。</p> <p>無色透明のごみ袋でなく、半透明のごみ袋で排出されているごみがあることや、一部のスーパーでは半透明のごみ袋しか販売されていないこと、半透明のごみ袋よりも無色透明のごみ袋の方が高価な場合が多いことは認識しています。</p> <p>市としても半透明のごみ袋の導入については、検討項目の1つではありますが、現在は無色透明のごみ袋での排出にご協力をいただいています。</p>	
--	--	--	---	--